

目次 季刊 人間と教育 101号 2019春

教室から●「未熟」を抱いて	大江未知	1
インタビュー ●香山リカさんに聞く		
「どう見られるか」より「どうしたいか」を大切に		
——付度・忠誠圧力から心とからだを解き放て	聞き手 菅間正道	4
特集Ⅰ 今、道徳教育を問う		
子どもに価値をおしつけない、付度させない道徳の授業を	相模光弘	20
中学校における道徳の教育実践		
——数学教科書の「道徳的内容」を道徳で授業してみた	熊崎聡	24
保護者が本当に望む道徳教育	宮澤里恵	28
道徳教科化に際しての保護者の思い	仁賀里美	30
小学校用道徳科教科書の特質——これまでの副読本との比較を通して	伊東毅	32
新自由主義にきわめて親和的な道徳		
——中学校「特別の教科 道徳」教科書の本質	池谷壽夫	40
「国家の道徳」から「市民の道徳」へ——ベクトルの転換を	渡辺雅之	48
戦後道徳教育の議論の争点と実践的課題		
——勝田守一の道徳教育論の批判的考察を通して	福島賢二	56
近代の道徳概念と道徳科の成績評価	尾崎恭一	66
特集Ⅱ オリンピック・パラリンピック教育と部活動を考える		
オリ・パラ教育の何が問題か——オリ・パラの意味を問う教育実践の創造	伊藤嘉人	74
ともにスポーツを楽しみ、関わり合うために大切なこととは		
——パラ・スポーツの体験を通して	半崎寛之	82
部活動が抱えてきた闇——その現実的解決策を探る	制野俊弘	90
エッセイ 境界石とアップルパイ	崔善愛	98
シリーズ		
ラテンアメリカの教育事情③ ブラジルの教育改革		
——教育の民主化と地域社会との連携	田村梨花	100
震災と教育② 震災・原発事故と向き合う教育		
——先の見えない「復興」と高校生を動員する「復興教育」の動き	齋藤毅	106
文化と教育⑩ 地域に根差した文化・教育活動が人間を創る	武智多恵子	112
いろんな暮らしの今⑧ 実るほど 頭を垂れる 稲穂かな	渡部達也	118
いま教室で⑥ 卒業生とアウシュビッツ——三度目の見学から得たもの	北條薫	122
児童文学なんてありませんっ！⑦ 説明文と報告文	赤木かん子	128
地域教育研究所より③ 子どもの声を40市町村教育長に届ける(青森県)	一戸義規	134
書評 佐藤一子・安藤聡彦・長澤成次編著『九条俳句訴訟と公民館の自由』	池谷美衣子	138
書評 川崎一彦・澤野由紀子・鈴木賢志・西浦和樹・アールベリエル松井久子		
『みんなの教育 スウェーデンの「人を育てる」国家戦略』	新井達也	140
書評 三輪定宣『無償教育と国際人権規約』	岡村稔	142
編集後記		144

表紙の絵 Blended

中村みずき

画家 英語通訳

米カリフォルニア州立大学で美術を専攻

水彩、色鉛筆、オイルパステル等を使って作品を制作・発表している

Instagram:@mizunowa_art